

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年四月度 入選句（投稿総数千九百五十六句・一般投句数七百九十六句）

特選

遊歩道ます屋にちよつと春風と

愛知県岡崎市

岩城 文子

川添いの遊歩道をゆくと、途中に全国シニア一位と言う枡屋さんがある。近づくとも木の香が匂ってくる。枡といつても四角ばかりではなく、八角、五角とあり受験時には合格にあやかり五角の枡を見かける。様々な枡に驚くばかりです。戸を開けて春風と一緒にちよつとがいいですね。

軒下を覗き込んでる初燕

大垣市

不破 英雄

すがすがしい句ですね 今年も又昨年と同じ巢に燕がやつてきたのでしょうか。自分の巢にもどってきた燕は家の方々に挨拶でもするつもりでしょうか、そつと覗いているのかも。微笑ましい所をとらえた佳句です。

子の摘みし土筆秘仏の夕餉かな

不破郡垂井町

児玉 信子

今年はいつまでも寒く、つくしも早く出たのは萎れ、雨のあとには度々見ることがありました。私も季節の蒔の臺、土筆は二三度食しています。子供達が炉端でひと握り程のつくしを摘み石仏の前に供へたのでしょうか。きつと仏様も夕餉にされたのだと思う。心優しい秀句ですね。

秀逸

花まつりぼんぼり川に傾きて

兵庫県西宮市

山田 千紫葉

鳥曇り曾良の案内旅日記

大阪府柏原市

辻井 こうめ

宮裏に風の遊び場藪椿

愛知県名古屋市

舘野 茂子

相槌のずれたる会話山笑ふ

大垣市

鶴田 信子

百千鳥雨すぎ一氣に声はらむ

大垣市

坪井 克枝

紅梅や寝息を乗せて乳母車

福井県福井市

三ツ山 しげ子

百歳の母の朝刊山笑ふ

大垣市

棚橋 昭子

ハーピアン日を跳ね音跳ね花の昼

大垣市

新町 恵子

花疲れ靴の踵の片減りし

大垣市

宮脇 眞

花の影梵字で刻む道しるべ

安八郡神戸町

安田 廣子

入選

川岸の風を捉らへる柳かな	大垣市	山田 賀子
花吹雪中をゆったり舟下り	愛知県一宮市	菅野 由美子
兩岸の句をよみ花の舟下り	愛知県高浜市	安藤 明女
飛花落花波紋ひろげて池の鯉	大垣市	久保田 悟義
逃水やその先美濃の岐れ道	大垣市	中山 あや子
囀りや伽藍に光る葵紋	大垣市	森川 きよ子
夜桜の城を見あげし星一つ	大垣市	菱田 佳花
花時の手を振りあへる舟下り	瑞穂市	河村 春陽
算数が数学となる新学期	大垣市	岡田 あや子
父と子のボール蹴散らす四月かな	大垣市	尾関 逸子

入選

句碑の径ゆく先々に百千鳥	大垣市	田中 雅子
雪解水迸りくる樵道	大垣市	臼井 秀子
ずり落ちし眼鏡押し上げ種を選ぶ	大垣市	村田 通夫
制服の正しき折目入社式	大垣市	神野 武彦
ガム噛んで考へてゐる四月馬鹿	大垣市	町野 眞佐子
これはまあ櫻霞の一夜城	大垣市	伊藤 英司
むすびの地抹茶席まで飛花落花	大阪府大阪市	杉山 睦
天道虫一番乗りで教室へ	大垣市	谷 彩虹
少し酔ひ少しさびしき春の闇	大垣市	矢橋 郁子
雨の去り吹き上がる風若楓	大垣市	高田 雅章

選者吟

落ちもせずきらりと雫朝ざくら

美代子